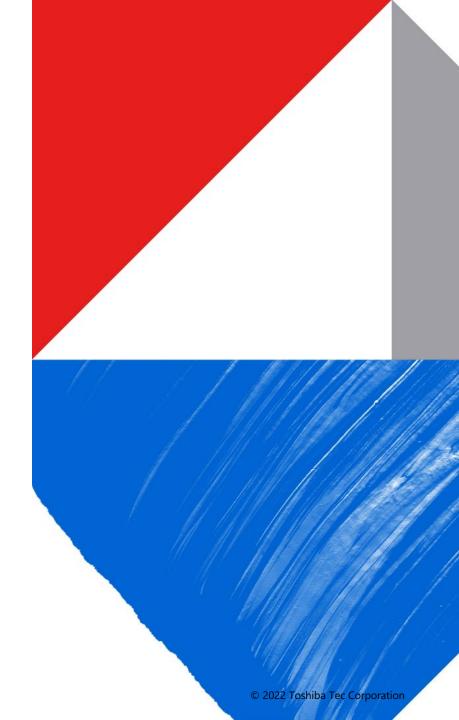
TOSHIBA

2021年度 決算説明資料

東芝テック株式会社 2022年5月11日



目次

- 01 2021年度振り返り
- 02 2021年度決算
- 03 2022年度業績見通し



01

2021年度振り返り



2021年度 主要戦略とその成果

2020年度の構造改革を経て、2021年度は「攻めの経営」を実行

注力テーマ

戦略

成果

新たな価値の創造

① 戦略的 パートナーシップ 注力事業領域における共創戦略パートナーを拡充 デジタルガレージなど9社、投融資63億円

② 小売業向けプラットフォーム構築

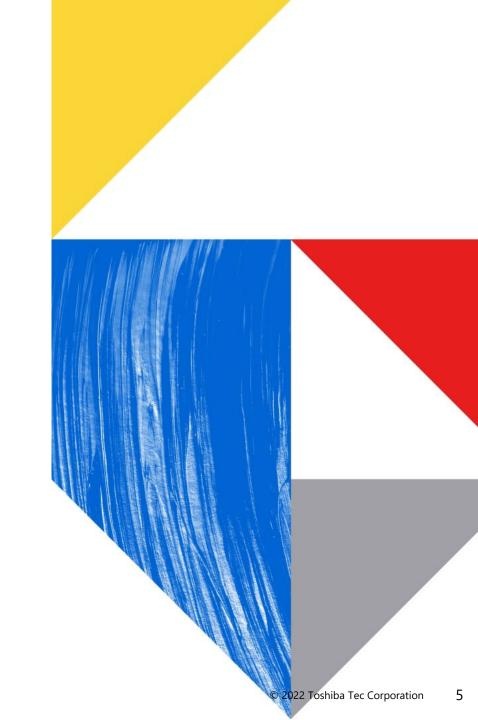
ELERAを軸としたソリューションの展開が加速 北米大手小売チェーンから受注、国内で実証実験

市況変動への対応

③ワークプレイスの 体質強化 ワークプレイス・ソリューション事業は 部材高騰、部品隘路、輸送費増の影響大も<u>黒字転換</u>

02

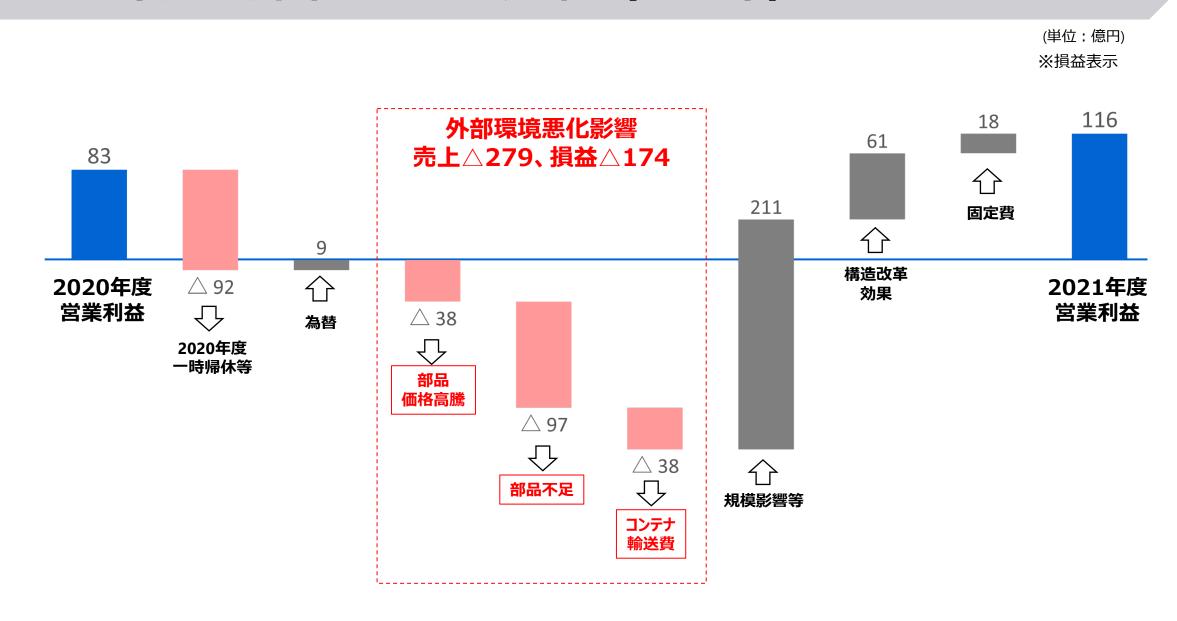
2021年度決算



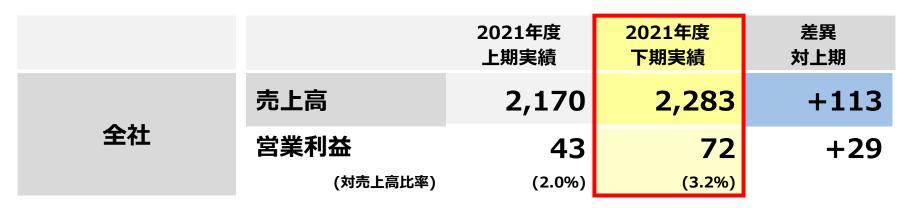
2021年度 業績

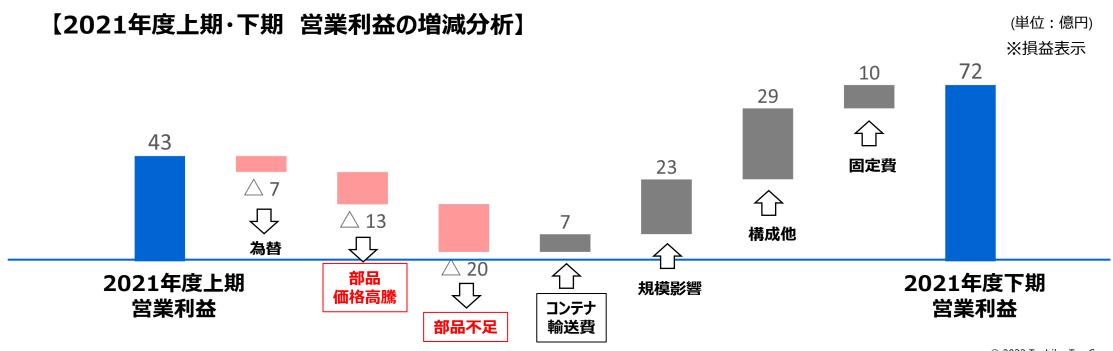
						(単位:億円)
		2021年度 実績	2021年度 予想(2/7)	2020年度 実績	差! 対前回予想	異 対前年度
売上高		4,453	4,450	4,057	+3	+396
営業利益	(対売上高比率)	116 (2.6%)	150 (3.4%)	83 (2.0%)	△34	+33
経常利益	(対売上高比率)	102 (2.3%)	120 (2.7%)	72 (1.8%)	△18	+30
親会社株主に帰属する当期純利益 (対売上高比率)		54 (1.2%)	80 (1.8%)	71 (1.8%)	△26	△17
配当		40円	40円	20円	0円	+20円
為替レート(円)	US\$	112.05	111.96	105.79	+0.09	+6.26
	EUR	130.54	130.22	123.21	+0.32	+7.33

2021年度 営業利益の増減分析(対前年)



2021年度 業績





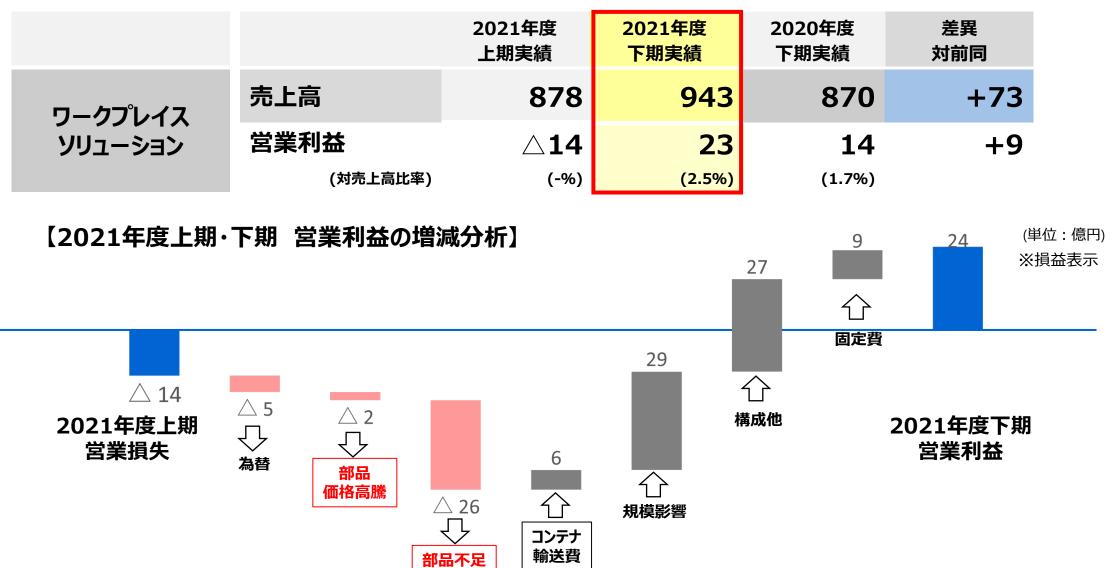
セグメント情報 2021年度業績



セグメント情報 2021年度業績

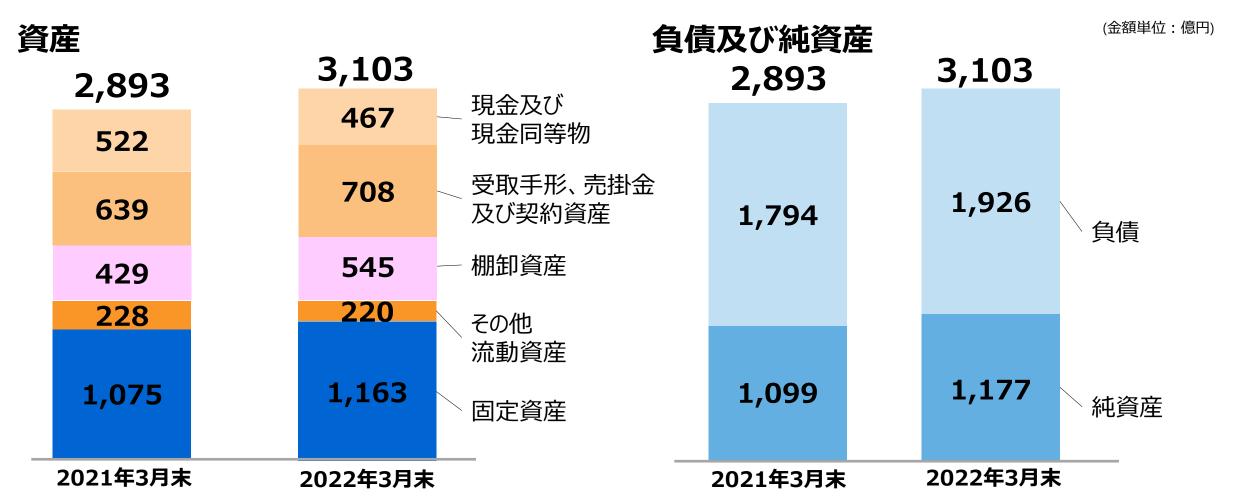
		2021年度	2021年度	2020年度	差異	
		実績	予想(2/7)	実績	対前回予想	対前年度
ワークプレイス	売上高	1,821	1,830	1,589	△9	+232
ソリューション	営業利益	10	25	△55		- 4 -
	(対売上高比率)	(0.5%)	(1.4%)	(-%)	△15	+65
		1,821				
		362		1,589	_	
		573		308	その他	
				496	区欠州	
		723		597	米州	
		163		188	日本	
		2021年度		2020年度		

セグメント情報 2021年度業績



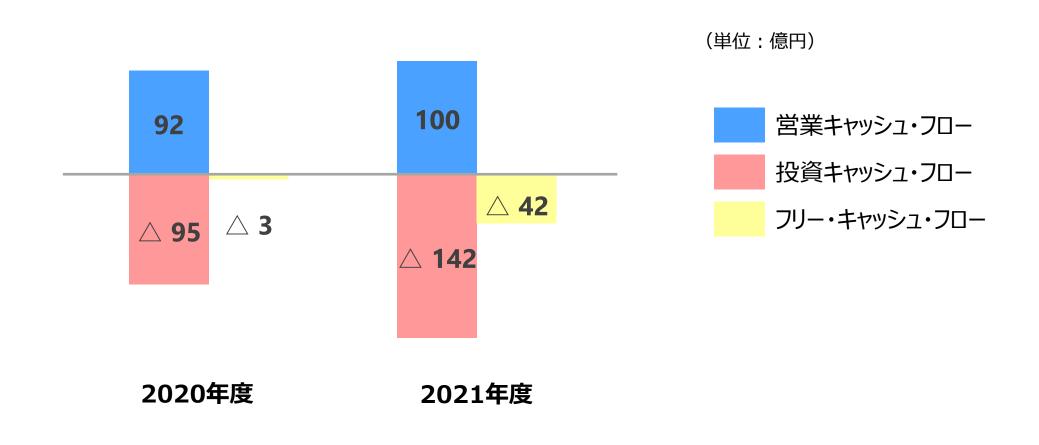
貸借対照表

業績の回復により自己資本比率36.1%



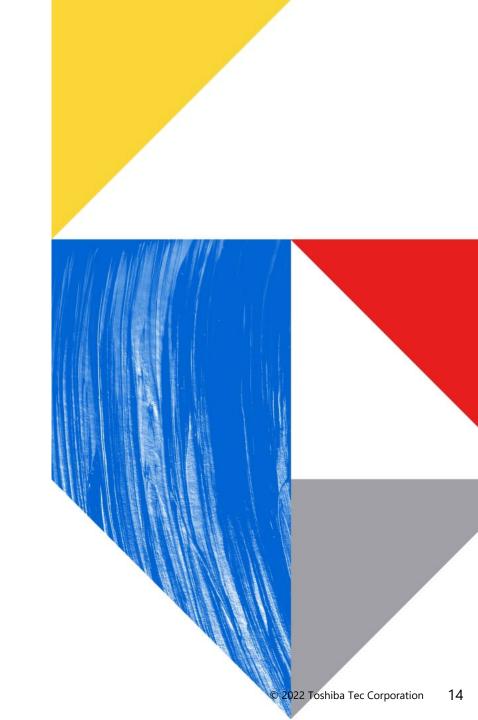
2021年度 キャッシュ・フロー

将来の成長に向けた積極投資を実施



03

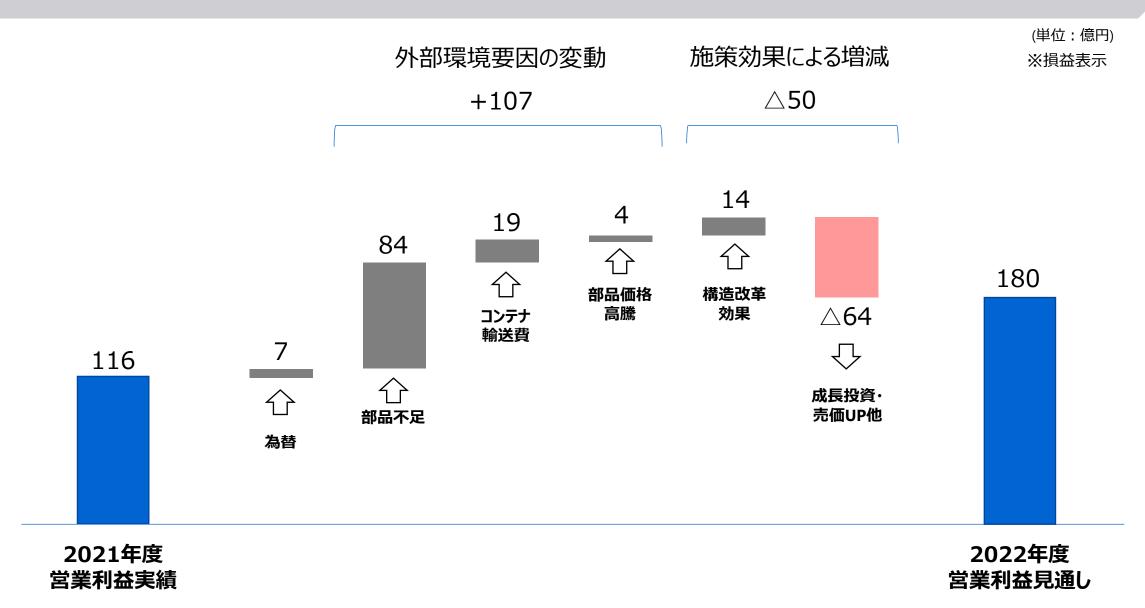
2022年度業績見通し



2022年度 業績見通し

				(単位:億円)
		2022年度 見通し	2021年度 実績	差異 対前年度
売上高		4,500	4,453	+47
営業利益	(対売上高比率)	180 (4.0%)	116 (2.6%)	+64
経常利益	(対売上高比率)	155 (3.4%)	102 (2.3%)	+53
親会社株主に帰属する 当期純利益	(対売上高比率)	80 (1.8%)	54 (1.2%)	+26
配当		50円	40円	+10円
為替レート(円)	US\$	120.00	112.05	+7.95
WEV I'(IJ)	EUR	135.00	130.54	+4.46 © 2022 Toshiba Tec Corporation

2022年度 営業利益の増減分析(対前年)



セグメント情報 2022年度業績見通し

				(単位:億円)
		2022年度 見通し	2021年度 実績	差 異 対前年度
リテール	売上高	2,650	2,670	△20
ソリューション	営業利益 (対売上高比率)	115 (4.3%)	106 (4.0%)	+9
ワークプレイス ソリューション	売上高	1,950	1,821	+129
	営業利益 (対売上高比率)	65 (3.3%)	10 (0.5%)	+55

/兴/上 /空田 \

Appendix

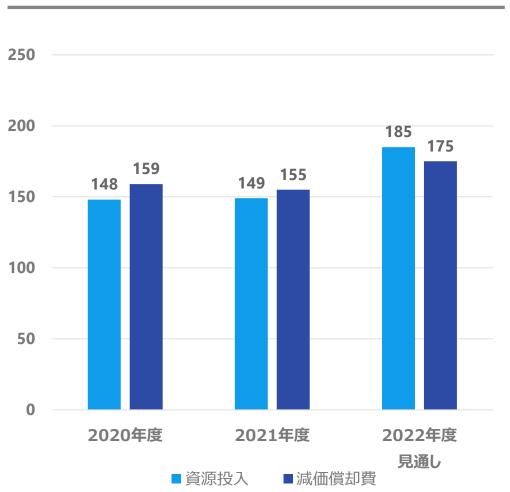
2022年度見通し 為替の影響

	前提為替レート	1円円安の場合の影響額	
	2022年度	売上高 (年間)	営業損益 (年間)
US\$	120円	+17億円	△1億円
EUR	135円	+3億円	+1億円

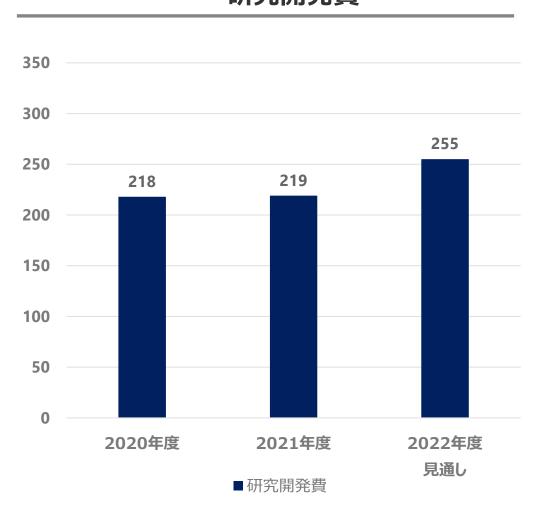
2022年度見通し 資源投入・減価償却費 研究開発費

(単位:億円)





研究開発費



^{*}有形固定資産及び無形固定資産の増加額

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、 当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一 定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨 のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大き く異なる可能性があります。

TOSHIBA

